

【NEWS RELEASE】

2021年7月30日

各 位

株式会社三井住友銀行

タカラ米穀株式会社に「SDGs推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、タカラ米穀株式会社（代表取締役社長：星 広二）に「SDGs推進融資」を実施いたしました。

「SDGs推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、タカラ米穀株式会社については、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

- ① BG 無洗米や金芽米、特別栽培米などの提供を通じた、環境に配慮した持続的な農業への取組

目標 2 飢餓をゼロに	2.4 2030年までに、生産性を向上させ、生産量を増やし、生態系を維持し、気候変動や極端な気象現象、干ばつ、洪水およびその他の災害に対する適応能力を向上させ、漸進的に土地と土壌の質を改善させるような、持続可能な食料生産システムを確保し、強靱（レジリエント）な農業を実践する。
目標 3 すべての人に健康と福祉を	3.4 2030年までに、非感染性疾患による若年死亡率を、予防や治療確認結果を通じて3分の1減少させ、精神保健および福祉を促進する。

- ② 食育を通じた地元農産物への理解促進、生産者と実需者の連携強化による米の販路拡大への貢献

目標 4 質の高い教育をみんなに	4.7 2030年までに、持続可能な開発のための教育および持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和および非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、すべての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識および技能を習得できるようにする。
目標 2 飢餓をゼロに	2.3 2030年までに、土地、その他の生産資源や、投入財、知識、金融サービス、市場および高付加価値化や非農業雇用の機会への確実かつ平等なアクセスの確保などを通じて、女性、先住民、家族農家、牧畜民および漁業者をはじめとする小規模食料生産者の農業生産性および所得を倍増させる。

三井住友銀行では、「SDG s 推進融資」により、本業を通じ、SDG s が達成される社会の実現に貢献をしております。



無洗米販売により、米のとぎ汁による海洋汚染を減少、水の使用量の削減、排水量の削減に寄与



生活応援セール（20周年 2021年12月）、灯油販売を通じた地域の方々との連携



特別栽培米の使用により生態系を守る農業の実現に寄与



太陽光パネルの設置

<ご参考>

※ SDG s とは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。